

No.	推薦又は応募	推薦を受ける者又は応募した者										推薦する者															
		氏名	年齢	性別	職業	経歴	農業経営の状況		認定農業者等の別	応募をする理由 (※自己応募者のみ記載)	抱負等	個人推薦				団体推薦						推薦の理由					
							営農類型	耕作規模				氏名	年齢	性別	職業	組織の名称	代表者又は 管理者氏名	活動の目的	構成員数	構成員の 資格・要件等							
1	応募	内田 光徳	67	男性	農業	R 7.12.12～ J A水郷つくば 第23代都和総代			非該当	農業への担い手不足、遊休農地の増加への大きな変化。地域農業の持続に協力したいと考えたからです。	代々農家に生まれ、幼少の頃から畑と育ってきました。普通にサラリーマンとして企業に勤めて、定年退職後、今は本気で農業を行っております。農地に活気をと願います。																
2	団体推薦	下村 幸男	71	男性	農業	R 3. 7～ R 5. 7 農地利用最適化推進委員 R 5. 7. 20～ 現在 土浦市農業委員会委員	水稻	田畑 700a 10a	元認定農業者 (個人)		水稻農家で乙戸地区を中心に5集落にわたり、水田を耕作しています。乙戸地区の農業の継続では、水田をどのような形で後継者へ繋ぎ農業を守るのか、また、現在耕作している集落の農家の皆さんと連携して、社会にどのように貢献できるのか、これらが最大の課題かと考えています。農業委員を1期務めさせて頂いて気が付いたのが、方針や施策と現場のギャップです。まだまだ問題が山積しており、問題解決に尽力したいと存じます。					大房農家組合	高橋 弘一	農家組合の発展と親睦	6人	旧大房地域の農業者で構成	地域の大型稲作専業農家であり、農家の信頼も非常に高い。						
																乙戸町内会	乙戸地区長 下村 利充	地域的な共同作業 良好な地位社会の維持及び形成	約700世帯 (約1,700人)	乙戸地域に住所を有する個人で構成	長年にわたり地域農業に従事し、稲作の生産技術や農地管理に深い知識と経験を有しています。また、農業後継者の育成や耕作放棄地の解消に積極的に取り組み、地域農業の発展に大きく寄与してきました。さらに、農業委員を1期、農業協同組合の総代と元乙戸町内会会計などの要職を歴任し、地域住民からの信頼も厚く、調整力と誠実な人柄で多くの課題解決に尽力してきました。これらの実績と人望から、農業委員としての職務を誠実かつ的確に遂行できる人物であると確信し、ここに推薦いたします。						
																乙戸地区資源保全活動組織	下村幸男 推薦者 副代表 下村 浩	地域の農地や水路を守るため、水路の浚渫や除草を行い、地域農地の環境保全	農業者27人 非農業者3人	乙戸地区に住する農業者や非農業者で構成	乙戸地区資源保全組織の設立時から先頭に立ち、組織代表として10年間乙戸地区の農地環境の保全に尽力している。これらの経験と実績を持つ方に引き続き農業委員として農業行政に携わって頂きたい。						
3	団体推薦	川村 剛久	65	男性	農業	H12. 4～現在 中村第2農家組合長 H23. 7. 20～現在 土浦市農業委員 R5年7月から会長就任 H24. 4～現在 中村揚水組合会計 H31. 3～R 2. 3 中村町一区地区長 R 4. 4～現在 土浦市外十五ヶ町村土地改良区理事	水稻 果樹 ふくれみ かん加工	田畑 100a 110a	認定農業者 (個人)		全国的に高齢化や人口減少の本格化、また農地所有者による不耕作地、相続などによる不在村の農地が出てくることが明らかになり、農業者の減少や荒廃農地の拡大が進み、地域の農地が将来適切に利用されなくなることが懸念される中、農地の有効利用ににつながるよう農地の集積、集約化等の取り組みが重要である。昨年策定された地域計画(毎年ブラッシュアップされます)により、将来の農業のありかたや農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標として農業を担う者ごとに農地の集積集約等、将来の農地の有効利用が地図化されました。土浦市の現状としても上記に述べたように高齢化に伴う基幹的農業従事者の減少、これに伴い担い手の減少、TPPによる価格競争、天候リスクなど様々な課題に直面しています。農業委員としては、農業委員会総会において地域計画変更への意見表明が明定されており、農地の権利移転(促進計画の設定、転用等)等の協議により地域計画の動きを把握し、土浦市の部局と情報を共有し実行に関与していくこと、また農地の有効利用において経営移譲による担い手の確保、新規就農者の育成、経営体の法人化等において尽力していきたいと思っております。					土浦市外十五ヶ町村土地改良区	藤澤 順一	農業生産基盤整備のための土地改良事業を目的とする	5,802人	昭和28年10月28日設立 受益面積2,087ha 理事20名、監事3名、総代80名	農業事情に詳しく、農政への取り組みに意欲的であるため						
															中村揚水組合	永井 義一	水田への揚水及び管理	50件		地域の農業、農地、農家の情報に精通しており、揚水、環境整備、農地集積等に貢献し、意欲があるため							
															中村第2農家組合	栗原 康二	農業用水、農道の管理、農政連絡など	4	中村町一区地内において、10a以上の耕作農家	農政に精通しており、地域の農業に貢献している。							

No.	推薦又は応募	推薦を受ける者又は応募した者										推薦する者														
		氏名	年齢	性別	職業	経歴	農業経営の状況		認定農業者等の別	応募をする理由 (※自己応募者のみ記載)	抱負等	個人推薦				団体推薦				推薦の理由						
							営農類型	耕作規模				氏名	年齢	性別	職業	組織の名称	代表者又は管理者氏名	活動の目的	構成員数		構成員の資格・要件等					
4	応募	埴 佳樹	70	男性	無職	S53. 4. 1 土浦市役所入庁 H17. 4. 1 土浦市役所環境衛生課長 H20. 4. 1 土浦市商工観光課長 H21. 4. 1 土浦市役所産業部長 H24. 4. 1 土浦市役所市民生活部長 H28. 3. 31 定年退職 R 2. 7. 20 土浦市農業委員会委員 現在に至る			非該当	近年の地球温暖化の影響や世界的な人口増により、農業を中心とした食糧事情は、ますます厳しさを増している。 長引くロシアのウクライナへの軍事侵攻は、世界の穀倉地帯であるウクライナからの小麦の流通を滞らせ、穀物の高騰を招き多方面に大きな影響を与えている。 また、今般勃発したイランへの軍事侵攻は、全世界へ経済活動の停滞を招いており、エネルギーや肥料の高騰など農業生産への影響も避けられない状況にあるといえ、世界的な食糧紛争を招きかねない状況になっている。 一方、我が国は主食である米を除き、穀物を中心に食料の多くを輸入に頼っており、国の基本である食料自給率は、カロリーベースで僅か38パーセントと、先進国の中で最低となっている。 国は、これらの状況を打破するため、食料安全保障の考え方により、農業基本法等の改正を行い、農業生産を増大させ、食料自給率の向上等を図っているが、現代日本の農業は、農業従事者の高齢化や担い手不足により、耕作放棄地が増大するなど、脆弱な日本農業を再興させるには、厳しい状況にあります。 このような状況を打破するためには、私は、若者に農業に従事してみようという気にさせる、魅力ある農業を確立することが必要であり、農地の集約化や流動性を高めることにより、大規模農業経営を可能とし、機械化による省力化、効率かつ儲かる農業にしていかなければならないと考えます。 現に、土浦市においても、銘柄産地指定を受けている「レンコン」など流通性の高い農業には、若者が担い手として新規就農している例も見られます。 ついでに、担い手の育成や農地の集約化、流動性の確保、農業の六次産業化などに加え、ふるさと納税制度を活用した新たな特産物や加工品の創出など、微力ながら、少しでも土浦市の農業振興のお手伝いができればと考えております。	国の根幹である農業は、農業従事者の高齢化や担い手不足、地球温暖化やウクライナ紛争、イラン紛争などにより、ますます厳しい状況下にありません。 私は、ふるさと土浦に奉職し、微力ながら地方行政に少なからず携わってまいりました。 農業行政については、平成21年4月から3年間、産業部長として「耕作放棄地解消計画」の策定やレンコンの銘柄産地指定など取り組まさせていただきました。 また、R2年7月からは、農業委員として、農地の有効利用や適正管理、集約化に努めてまいりました。 つきましては、引き続き、これまでの経験を少しでも活かして、微力ながら土浦市の農業振興の一助となるよう努めてまいりたいと考えているものであります。															
5	団体推薦	上野 茂男	73	男性	農業	R 5 ~ R 7 新治梨部会会長 沢辺土地改良区理事長			認定農業者	私の住んでいる地区では、農業法人が委託希望の水田を借り入れて耕作してくれています。 又畑も条件の良い圃場はソバを栽培しているので、ほかの地区よりは耕作放棄地は少ないと思いますが、私が就農した50年前と比較すると、畑の耕作放棄地が増えています。 私は耕作放棄地を減らす事は難しいと思いますが、増えないように尽力していきたいと思えます。 私の友人が、梨を100a栽培していましたが、今年から40aを定年退職した人に栽培してもらうことになりました。栽培技術は友人が教え、農機具はリースし(消毒機械は中古で購入)、リタイヤした人でも10年位栽培できると思えます。私もこのように経営移譲して行けたらと思います。 他業種からの若い新規就農者は理想を追いすぎて挫折する人もいますが、個人差はあると思いますが、リタイヤしたの方が現実的なので成功するように思います。 このような事に行政も取り込むのも面白いかも。	沢辺地区 沢辺土地改良区 沢辺土地改良区 沢辺地区に在住する農業者で構成	沢辺地区長 佐藤 忠弘	住民による活力ある生産性豊かな街づくりを目指す	228人							長年にわたり農業に従事し、堅実で区民からの信頼も厚く、現在は沢辺土地改良区の理事長職をこなす、これからの農業後継者作りをするうえで、なくてはならない存在だと思います。 是非、農業委員となって活躍して頂きたい、ここに適任者を推薦いたしますので、よろしくお願いたします。					
6	個人推薦	池田 有美	43	女性	行政書士	H31. 1~R 2. 1 行政書士池田うみ事務所開業 R 2. 1~R 5. 1 行政書士池田うみ事務所を廃業するとともに商号をUMCサポートへ変更 行政書士法人Blue Ocean International設立・役員就任 R 5. 1. 31 行政書士法人Blue Ocean International 役員辞任 R 5. 2. 1~ UMCサポートの商号を行政書士事務所UMCサポートへ変更 R 3. 5. 7~ 茨城県行政書士会県南支部理事就任(現:業務部長) R 5. 5. 末~ 茨城県行政書士会理事就任(現:国際部副部長、申請取次行政書士管理委員会委員長、会員指導委員) R 5. 5. 16~ 阿見町人と自然が織りなす輝くまち有識者会議委員 就任 R 5. 8. 2~ 特定技能外国人支援機関である「登録支援機関」登録 R 6. 4. 1~ 阿見町情報公開・個人情報保護審査会委員 就任 R 6. 4. 11~ 阿見町商工会青年部部長、県南副会長、県青連理事 就任				農業委員会と行政書士には、深い関わりがあります。特に、農地転用手続きの提出書類には、代理人として行政書士権がございます。これは、行政書士に固有の権限であり、特別に与えられたものであると考えます。 農業委員会と行政書士との深い関わりを築き上げてきた諸先輩方に心からの敬意を評しつつ、これからは適正な制度運営を維持するため、この度の農業委員会委員の募集に応募いたしました。 行政書士業務を通して得た職務上の知見に加え、各種組織の理事や委員を担当した経験を活かし、農地に関する適正な制度運営に関わってまいりたいと考えております。また、女性としての目線も職務の遂行に際し、活かしていきたいと存じます。	鎌田 惇 永塚 崇洋 大関 啓之	39 51 48	男性 男性 男性	行政書士 行政書士 行政書士							池田有美行政書士は、行政書士として様々な業務を取り扱い、それに伴う法令について見識があるほか、阿見町情報公開/個人情報保護審査会委員に就任し、特定行政書士の立場から、情報公開・個人情報保護に係る審査請求事案について公正・中立な立場で調査審議を行っている経験を有する。 これらの見識、経験を踏まえると、池田有美行政書士は、農業委員会の所掌事項に関し、職務を適切に行うことができる能力を有するものと思慮する。 以上より、池田有美行政書士を土浦市農業委員会委員に推薦する理由である。					

